　記載例

赤字

**人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。**

４．地域農業の担い手の育成・確保

（１）担い手農家の育成・確保

|  |
| --- |
| **＜具体的記入例＞**  【既に人・農地プランを作成されている場合】  ①　別添　平成○○年○○月作成の「人・農地プラン」のとおりと記載し、「人・農地プラン」の写しを添付して下さい。  【人・農地プランを作成されていない場合】  ②　地域で「人・農地プラン」を作成することで、地域の担い手となる中心経営体を定める。  ＜既存集落営農組織がある場合＞  ③　既存集落営農組織に地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に参画することで組織を強化する。  ④　現状の課題（役員の高齢化、固定化による営農組合の後継者不足、設立時の目的意識の希薄化、経営意欲の低下等）の改善をはかるため、法人化による経営意識の向上、地域の若者や女性の参画による円滑な世代交代の仕組みづくりにより、組織を強化する。  ⑤　近隣の集落営農組織と連携により組織を強化する。  ＜地域に個別経営の担い手（中心経営体）が存在する場合＞  ⑥　担い手の効率的な営農のため、活動組織は農地の利用調整（集積・集約）と施設（用排水路、道路）の保全管理に協力する。  ＜地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合＞  ⑦　集落営農組織と個別経営の担い手間の農地の利用調整（集積・集約）や相互の作業受委託により効率的な営農の展開により地域の担い手を強化する。  ＜地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）の確保が困難な場合＞  ⑧　集落外部の担い手（近隣の集落営農組合、個別経営の担い手、農業サービス事業体（ＪＡなど）に水田基幹作業をまとめて委託し、日常管理作業を委託集落側が行い、活動組織は、施設（用排水路、道路）の保全管理に協力する。 |

（２）農地の利用集積

|  |
| --- |
| **＜具体的記入例＞**  【既に人・農地プランを作成されている場合】  ①　別添　平成○○年○○月作成の「人・農地プラン」のとおりと記載し、「人・農地プラン」の写しを添付して下さい。  【人・農地プランを作成されていない場合】  ②　地域で「人・農地プラン」を作成することで、地域の農地利用のあり方や農地の利用集積方針を定める。  ＜既存集落営農組織がある場合＞  ③　既存集落営農組織に地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に利用集積することで利用調整（集積・集約）する。  ④　近隣の集落営農組織と連携により広域での利用調整（集積・集約）をはかる。  ＜地域に個別経営の担い手（中心経営体）が存在する場合＞  ⑤　個別経営の担い手へ農地の利用調整（集積・集約）をはかる。  ＜地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合＞  ⑥　集落営農組織と個別経営の担い手間の農地の利用調整（集積・集約）をはかる。  ＜地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）の確保が困難な場合＞  ⑦　集落外部の担い手（近隣の集落営農組合、個別経営の担い手、農業サービス事業体（ＪＡなど）へ農地の利用調整（集積・集約）をはかる。 |

**構想作成後５年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組む活動・方策について、方策例やその記入例を参考にして記載して下さい。**

５．適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

|  |
| --- |
| **方策例（１）組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やＮＰＯ法人化**  **＜具体的記入例＞**  **○農業生産体制の整備強化と併せて、組織体制の強化を図る方策の例**  【既に集落営農組織がある場合】  ①　地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に参画することで地域の（集落単位の）農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。  ②　近隣集落の集落営農組織と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、保全管理体制の強化を図る。  　　（近隣○○集落の○○営農組合との連携）  ③　近隣集落の集落営農組織と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、併せて活動組織も近隣集落と連携（合併）することで集落営農組織との協力と役割分担により、保全管理体制の強化を図る。  　　（近隣○○集落の○○営農組合と連携、○○活動組織と連携（合併））  ④　地域外（集落外）の農業生産法人や担い手（認定農業者）と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織、農業生産法人あるいは担い手との協力と役割分担により保全管理体制の強化を図る。  　　（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）  【地域に担い手（中心経営体）が存在する場合】  ⑤　担い手（中心経営体）との協力・役割分担により保全管理を図る。  　　（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）    ⑥　担い手（中心経営体）に更なる農地集積・集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、担い手との協力・役割分担により保全管理を図る。  　　（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）  【集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合】  ⑦　農地中間管理事業を活用し、農地の集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織、担い手との協力と役割分担により保全管理体制の強化を図る。  【集落営農組織も担い手（中心経営体）もない場合】  ⑧　地域の小規模農家、兼業農家全てが参画する集落営農組織を設立し、地域の（集落単位の）農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。    ⑨　「人・農地プラン」を策定し、今後の地域の中心となる担い手（中心経営体）との協力・役割分担により保全管理の強化を図る。  ⑩　地域外（集落外）の農業生産法人や担い手（認定農業者）へ　　農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により保全管理の強化を図る。（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）    **＜具体的記入例＞**  **○組織の広域組織やＮＰＯ法人化により強化を図る方策の例**  ①　近隣集落と連携し組織を広域化することで、保全管理体制の強化を図る。  広域組織化の範囲  ・隣接組織（隣接する２組織以上）  ・水系単位  ・土地改良区単位　　　　　　　　**※広域組織化の範囲は、実情に**  ・学区単位　　　　　　　　　　　　**応じて選択して下さい。**  ・旧村単位  ・市町単位  ②　活動組織のＮＰＯ法人化  活動組織の広域化に伴い、ＮＰＯ法人化とすることで、保全管理体制の強化を図る。    **方策例（２）農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用**  **＜具体的記入例＞**  **○農地周辺部の活動拡大**  ①　農地周辺部の林地等の整備保全を別事業（○○○○事業）により実施し、地域環境の保全に併せ獣害対策の一環とする事で、農用地及び施設の保全をはかる。  **＜具体的記入例＞**  **○遊休農地の有効利用**  ①　遊休農地で○○○を栽培することで活用し、農地や地域環境の保全をはかる。  ②　遊休農地で○○○を栽培することで活用し、農地や地域環境の保全をはかり、併せて地域の特産品としての出荷により農業生産体制の強化を図る。  **方策例（３）地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動**  **＜具体的記入例＞**  ①　活動組織ＨＰを活用し、取組内容の紹介や地域の魅力を発信し、外部の活動参画者を募集することで、保全管理活動の継続や強化を図る。  ②　地域内の一般住民に対して、保全管理活動が地域を守る活動であることを広報紙やＨＰ等で発信することで、これまで活動に参加されていない人々の参加を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。  **方策例（４）地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動**  **＜具体的記入例＞**  ①　地域の景観・環境を維持することで、地域の魅力として情報発信することで 地域外の人々や、の関心を高めこれまで活動に参加されていない人々の参加 を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。  **方策例（５）保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備**  **＜具体的記入例＞**  ①　畦畔除去による区画拡大により、農用地の条件を向上することで担い手への集積を進め、地域の農業生産体制を整備強化し、役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。 |